

## 第5回 丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会

日時：令和5年1月30日(月) 15:00～

場所：丸森町役場 302会議室

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 第4回検討部会および第2回検討委員会のふりかえり 資料-1、資料-2

#### 3 河川防災ステーション利活用計画 資料-3

##### (1) 防災ステーション利活用方針

- ・概要（キーワード、利活用アイデア）
- ・方針1．フットパス・トレイル
- ・方針2．サウナ
- ・方針3．阿武隈ライン舟下り
- ・方針4．丸森ならではの食材・料理
- ・方針5．サイクリング
- ・方針6．アウトドアメーカーとの連携

##### (2) 防災ステーションの施設レイアウトに関わる検討

- ・備蓄資材置き場の修景デザイン
- ・土砂地中埋設空間のデザイン

##### (参考 1) 水防センターの整備方針

- ・(仮称)川の駅(水防センター+観光交流センター)ブロックプラン
- ・諸室の面積と機能

##### (参考 2) 周辺整備について

- ・対岸高水敷の樹木伐採
- ・水辺の楽校(内川)

#### 4 先進事例視察研修報告 資料4-1、4-2

- ・石巻かわまちオープンパーク、いしのまき元気いちば
- ・かわまちてらす閑上

#### 5 「まちづくり会社」を軸とした体制・事業スキーム 資料-5

- ・先進事例における体制・事業スキーム
- ・丸森地区の体制・事業スキーム素案

#### 6 その他

- ・次年度以降の進め方

#### 7 閉 会

## 第4回検討部会（2022/10/24）の意見交換

## （主要な意見のまとめ）

大分類	小分類	説明（●）・意見（○）
1. 防災ステーション利活用方針	① キーワードは「健康とアウトドア」	○（前回の部会で）とてもいいキーワードが出ていた。健康とアウトドア。これを明快に入れよう。阿武隈ラインもアウトドア、丸森ならではの食材も健康。明快な言葉があって中身はこんな感じですってなっていると良い。⇒利活用方針のコンセプトとして記述する。
	② トレイルルートの構想図をアップデート	○（事務局の方で）このトレイルルートの構想図アップデートしてください。理想的には防ステ計画地で終わらず、齋理屋敷や百々石公園の周辺まで含めて、みちのく潮風トレイルから丸森をいろいろ散策すると楽しいよっていうコースにする。 ○河川防災ステーションの予定地から、歩いてすぐのところ、伊達政宗公の曾祖父の植宗公のお墓がある丸山城がある。竹林が見事なものです。整備すれば丸森町の眺望を楽しむことができます。その辺もうまく絡められれば面白い。⇒赤い星で台町古墳群とか政宗初陣の地とかあるので、同じように丸山城跡地を入れる。
	③ 竹を活かす活動	○竹の活用はちょっと事務局で相談してください。防ステはその活動拠点にしかならないような気がしますが、それでもそういう活動と絡めながら丸森町全体を良くしていこうっていう話に繋がっていく気がしますので。
	④ サウナー1（井戸を設ける）	○井戸は防災のためにも、日常利用時にも使えるので、ぜひ防災の名目でやってほしいと思います。ちょっと事務局の方で調べてもらって（井戸の掘削費用）、資料に書いて委員会でお墨付きを作って、議会で予算確保という方向でいきましょう。いい話出るなあ。他はどうでしょう、サウナに必要なものは、大きな話としては井戸ぐらいですか。 ○そうするといろいろ連携できるよね。サウナがあると絶対シャワー環境が必要だけど、SUP だとかアウトドアにも絶対必要、当然水防活動にも必要だからその辺は上手に。
	⑤ サウナー2（サウナ施設の整備）	○商工会で、3階建てにして、2階にはスパ施設という案がありましたけど、それがサウナに入れ替わったっていう考えでも十分受け入れられますかね。 ○大丈夫です。石巻の「上品の郷」って道の駅、そこはやっぱり天然温泉があるっていうことで、全国でもやはりお客様の多い道の駅として有名になっています。やっぱり他と違うような特色が必要かと。それがサウナだとしてもまた面白いというふうに思います。 ○キャンプ場の施設と形を変えて、貸切りスペースにするとか、あとみんなが入れそうな部分とか、多少バリエーションがあれば組み立てはできそうかなと思います。 ○屋上をデッキにして、風の抜け感を活かして。 ○屋上にテントサウナはいいかもね。
2. 防災ステーションの施設レイアウトに関わる事項	① 広場の利用・空間のデザイン	○ハンモックとかを借りて遊びに来た子たちが日常自分の家庭ではないことを経験できたら。小さいときから木や自然にふれる入り口というかきっかけ作りみたいなものが防災ステーションの中にちょっとあってもいいのかなと思った。植樹っていうだけじゃなくて、目隠し、子供の遊び、あと教育という観点から、その3要素を入れるような仕組みで。 ○広場のところで半分イベントができる。フラットでいいですけど、半分その奥側をちょっと小高い山にして、ハンモックとか、木登りできる、いわゆる子供のプレパーク、既存の公園じゃないような公園であるとおもしろい。子供は喜ぶます。ケガもするだろうし。
	② 備蓄資材の修景	○いや、将来的に考えたとき、生垣の方がいい。竹垣は6-7年に1回は更新が必要。生垣は毎年剪定が必要になるが、そっちの方が多分トータル的には安くあがる。 ○こういうところに植栽するのであれば、総合的にデザインすることが必要かと思う。高木と低木、花が咲くものなど、全体として綺麗に収めないとイケない。 ○正しいこと言いますね。岩ズリは、成型で盛らないでちょっと「乱積み」にしてほしい。その方が自然に見える。こういう岩がすごく綺麗な台形状に積んであると、人工的な感じで違和感がある。だから適宜自然に積む。そして全体のランドスケープを計画して、その中でヘリポートのすぐ下のところ、連節ブロックの前のところをどう隠すか。ここは直接隠さないと多分、変な感じになる。竹垣か生垣か。高さは1.25mなので、それなりに大きくしてくれるような植栽で隠す。
3. 周辺整備について	① 対岸高水敷の樹木伐採	○河川のギリギリまでは開発はできないと思います。これは作業機械が入れる部分というのがあります。河岸は砂地になっているところが多いと思いますが、その部分に関しては通常は入らないで景観を維持する程度のことになると思います。現状、国交省さんの土地になっているところを伐採することになります。民地にはもう林木がある状態なので、その前面が牧草地として刈り取られても、全部がハゲになることはない。刈り取った後っていうのは芝生のような風景に見える。全ては開発できないということと、あわせてある程度の樹木は残るといこと、元々堤防側のところが民地ですけど、実際緑になっている、もう結構木が生えている部分がある、なので、その部分が完全に平らになるイメージにはならないということです。 ○綺麗にある程度管理したっていう姿は見た方が、生い茂っている状態を見せるよりは遥かに良い。
	② 水辺の学校	○対岸に渡りやすくなるような整備を検討ぐらいにしておこう。 ○ちなみに阿武隈川と内川の合流点って難しいです安定しなくて、ちょっとしたバランスの違いで変わってくる。委員会における資料として水辺の楽校は、川に親しみを覚える施設をじゃなくて環境を整備にしましょう。施設・ハード整備じゃなくてそういう環境を作っていく。
4. 水防センター整備方針+水防センターの整備・運営の体制および費用について	① 維持管理費の考慮	○借金返済するときに利子を補助してあげるという話はきくけど、元本も補助してくれる。この事業はお金がかかるので、今のところはそういう立て付けで検討を進めていきます。ただ前回も含めて申し上げているのは、そういった形の立派な建物ができる、建物の維持管理費は結構かかる（特にRCの建物は）。新しく作るのにはいろんな制度があるけど、賢く維持管理をしていくための制度が全然ないっていう状況なので、あんまりそうならないようになるべく民間がリスクを持ってやった方が町財政としてもいいし、そういう経営感覚をきちんと持ってこういう制度を考えてみた方がいいですよという話をずっとしてまいりました。
	② 飲食施設の災害時炊きだし対応と平常時利用の整理	●（町全体に）行きわたらせるような炊き出しじゃなくていい。水防センターは、例えば後方支援で館矢間地区の施設に入ってもらったような「警察・消防・自衛隊のベース」を想定したとすれば、100食できれば何とかかなと思う。あるいはそれに車で避難したこの辺からの避難者を合わせても、MAX200ぐらいですか。豚汁だったら200杯ぐらいのイメージです。 ○それが1ヶ月つづくというのではなく、車で来ただけだったらアルファ米と豚汁を提供するというのであれば、大きな厨房はいらぬ。 ○そんなイメージでいいと思います。丸森町内は、500窯があっちこっちにあり、多分、非常時はそれで対応できる。平時の厨房でいい、災害1週間は借りるとかっていう契約。
	③ 誘客のターゲット	○飲食施設は、イメージがおしゃれなサウナと一致しないとイケない。そうじゃないと相乗効果はない。本格的なサウナはキャンプ場の方に行ってもらって、入門編みたいな感じだけでも、そのイメージ、やっぱりフィンランドサウナのイメージと一致するような飲食。だからターゲット層としては「アウトドアと健康」に敏感なちょっと流行にもうるさい方々。 ○MARUMORI SAUNAに関しては、30代、40代が中心で、20代50代も。川に入るっていうところだけが大切なわけではなく、気持ちよさを出すには、その場所々々で絶対違うので。そうですね、必ずしも川にダイブだけではなくて、天然の井戸水を使ったり、あそここのロケーションとか風の抜け感とか全体でコントロールして、あそこらしさは必要だろう。おしゃれだけだと東京でいい。あそこらしさを追求するのは大事。 ○ターゲットとしたらそういうアウトドアに興味を持ちそうな人かな。勝手に思っているのは入門編サウナに合うイメージのレストラン、場合によってはトレイルを歩いていてお茶を飲みたい。そういうちょっとした場面がアウトドアと健康で発生しますよね。カフェって一番質が高い有料休憩所になる。これだとそんな儲からない、中津川さんが教えてくれたように。そうするとサウナとか健康とかアウトドアって最先端の今の流行だけど、定着していく話だと思う。トレイルも。そういうのを囲い込んでいって、何かやれるようなレストランかな。
	④ 経営体の確立にむけての進め方	○（今日の議論で）いろんな新しいポテンシャルが感じられる。ただ実際に誰がどうやって動くの、レストランを受け入れてくれるのって話。その人の家賃負担力、コンセプト、規模、どの辺がベストか。テナントで入りますと腹をくくってくれる方が考えるのが一番いい。その家賃負担でペイできるような、例えばS造から始めて調整していくのだろう。だから早めにテナントを決めて、そこから先はもうこういう会議で議論する話じゃない。腹をくくってくれる人が、経営者の責任を持って決めていただく。横槍を入れるべきじゃない。責任を一人に背負わせたくないのだったら、たとえば丸森合同会社とかいう会社をつくって、皆さんそれなりに出資していただいてリスクを背負う。でもそれはそれでいろんな人の顔を伺いながら、経営しなければならぬので失敗しちゃう。やっぱり誰かが責任を持ってきちんと回していただくのがいいと個人的には思います。 ○なんとなく方針が見えてきた。「健康とアウトドア」、サウナにふさわしい、アウトドアに意識が高い系の人に向けてうまいことやっていければ。食も精進料理とかオーガニック、言い方次第。この話はちょっと継続的にまだやっていける余裕があるので、当座の行政に対しては、今日の前半戦で議論させていただいた点を修正して、一番お金がかかるRC造で予算を確保いただいて、その方向で動いていながら、実際にはここで経営・運営をしてくれる組織体制は作っていないといけないので、引き続きやっていきましょう。

第4回検討部会（2022/10/24）の意見交換（詳細）

大分類	小分類	説明（●）・意見（○）
1. 防災ステーション利活用方針	① キーワードは「健康とアウトドア」	○（前回の部会で）とてもいいキーワードが出ていた。健康とアウトドア。これを明快に入れよう。阿武隈ラインもアウトドア、丸森ならではの食材も健康。明快な言葉があつて中身はこんな感じですよってなっていると良い。⇒利活用方針のコンセプトとして記述する。
	② トレイルルートの構想図をアップデート	○（事務局の方で）このトレイルルートの構想図アップデートしてください。理想的には防ステ計画地で終わらず、齋理屋敷や百々石公園の周辺まで含めて、みちのく潮風トレイルから丸森をいろいろ散策すると楽しいよっていうコースにする。  ○防災ステーションから周りを見ると思っている必要がある。大変良い場所です。標高が高々20数mだと思います。そこから仙台の泉谷岳、船形山が見える。そういう場所である。川風トレイル沿いに下っていくと、蔵王が見えるし、丸森の里山はしっかり見える。イメージとしては伊達藩の最南端、国境の丸森の山が見えるというイメージ。⇒このような丸森の特徴をあらわす「キャッチコピー」を今後検討しよう。若い人に訴求するコピーを。 ○川を歩くつもりで下った。やはり山と違ったおもしろさ、見晴らしがいいと川の蛇行によって風景が変わる。段々河口に行くに従って広がっていく。丸森の街までの阿武隈川は狭窄部ですね、そういう川のおもしろさっていうのは、ここ（防ステ）だけっていうのはまずいなと思ってちょっと歩いてきました。皆さんも歩いてみるといいと思います。そういふうにして実感してやってみればまた違うことが考えられると思います。 ○河川防災ステーションの予定地から、歩いてすぐのところ、伊達政宗公の曾祖父の植宗公のお墓がある丸山城がある。竹林が見事なものです。整備すれば丸森町の眺望を楽しむことができます。その辺もうまく絡められれば面白い。⇒赤い星で台町古墳群とか政宗初陣の地とかあるので、同じように丸山城跡地を入れる。 ○丸森城は大変よいところです。この際、広域的に見る必要があると思います。伊具三城で金山城と小斎城が川の近くにありますがこれも含める。また昔の川港があったので、そういうところも参考に考える。防災ステーション中心の話になりますけれども、参考に角田あたりまでの流域の全図を用意して、その流域のイメージを持って考えることも大切だと思う。
	③ 竹を活かす活動	○竹の活用はちょっと事務局で相談してください。防ステはその活動拠点にしかならないような気がしますが、それでもそういう活動と絡めながら丸森町全体を良くしていこうっていう話に繋がっていく気がしますので。  ○あるグループで丸山城址に視察に行った後に、この笹鳴りの町丸森を目指してということでその竹林をうまく演出した形で、竹灯籠をみんなで作って、12月の中旬に竹の光のページェントを開催する予定になっている。そのときに同時に、公社とか、あるいは不動尊公園キャンプ場なんかを第2第3会場にして、竹製品なんかの販売などを予定している。竹害も多いので。 ○「阿武隈の里山を守る会」というNPO団体がある。そこは放置竹林の解消を目的として、メンマや竹炭を作っている。竹を燃やして途中で炭化を抑えたものが土壌改良に良いということで今すごく注目されている。月に1回、第3日曜日に竹林整備のボランティアを募って、阿武隈川沿いの河岸を整理している。国土交通省が管轄のエリアで、管理申請をしてもう丸一年活動している。その中で竹パウダーを使ってコンポストを作り、生ゴミを減らすような活動をしている。放置竹林の活用だけじゃなくて、ゴミを減らして燃料を減らすというエネルギー問題への取り組みでもあります。その団体は、竹あかりの竹灯籠も作って、齋理屋敷の指定管理をしているGM7さんと一緒に、産業伝承館のある「あぶくま駅」に去年も竹あかりを設置しています。「阿武隈の里山を守る会」の最終的な目標は、この竹林を整備して、そこで音楽イベントをしようと、竹の中で。歩いて行けなくもない距離なので、そういうことも考えていけるかなと。 ○良い活動団体がありますよね、丸森には。これもアウトドアだし。どんどん絡めてそういういろんな活動の拠点になっていくといいですねこの河川防災ステーションが。今の話も資料に書けるといいよね。直接この場所でやるわけじゃないから書きづらくはあるけど、そういう人が活動する場所として。
	④ サウナー1（井戸を設ける）	○井戸は防災のためにも、日常利用時にも使えるので、ぜひ防災の名目でやってほしいと思います。ちょっと事務局の方で調べてもらって（井戸の掘削費用）、資料に書いて委員会でお墨付きを作って、議会で予算確保という方向でいきましょう。いい話出るなあ。他はどうでしょう、サウナに必要なものは。大きな話としては井戸ぐらいですか。  ○阿部さん、サウナって書いてしまっていていいね。 ○大丈夫です。 ○そうするといろいろ連携できるよね。サウナがあると絶対シャワー環境が必要だけど、SUPだとかアウトドアにも絶対必要、当然水防活動にも必要だからその辺は上手に。 ○サウナをやるなら井戸が欲しい。天然の水を利用するということ。 ●（非常時に）断水しても井戸なら使える。 ○防災施設として作るのもありだね。災害のときだけ使うなんて絶対使いものにならない。井戸ってどのぐらいお金がかかるの。 ●普通の民間の浅井戸なら大してお金はかからないだろう。 ○3万円/m程度ではないか。 ○川のそばで井戸を掘っても利水権は関係ないね。河川区域に編入しちゃうよ。 ●そうですね。関係します。 ○防災施設としての井戸、その整備のやり方を国交省が考える必要がある。井戸は、防災ステーションに必要なと思うので。
	⑤ サウナー2（サウナ施設の整備）	○商工会で、3階建てにして、2階にはスパ施設という案がありましたけど、それがサウナに入れ替わったっていう考えでも十分受け入れられますかね。 ○大丈夫です。石巻の「上品の郷」って道の駅、そこはやっぱり天然温泉があるっていうことで、全国でもやはりお客様の多い道の駅として有名になっています。やっぱり他と違うような特色が必要かと。それがサウナだとしてもまた面白いというふうに思います。 ○そうするといろいろ連携できるよね。サウナがあると絶対シャワー環境が必要だけど、SUPだとかアウトドアにも絶対必要、当然水防活動にも必要だからその辺は上手に。 ○数をさばくのは阿部さん考えてください。キャンプ場と同じように少人数高単価のオペレーションはちょっとしんどいかな。かといって大量に入れるようにするのちょっと違うか。 ○例えば形を変えて、貸切りスペースにするとか、あとみんなが入れそうな部分とか、多少パリエーションがあれば組み立てはできそうかなと思います。 ○テントサウナを固定設備とは別に用意しておいて、多客期は対応とか。 ○そういうのもありかと思えます。キャンプ場でも、テントサウナを使っているの。 ○ただ目隠ししづらいよね、テントサウナを外に置くとすると。人がいっぱいきちゃうと。 ○屋上をデッキにして、風の抜け感を活かして。 ○屋上にテントサウナはいいかもね。
2. 防災ステーションの施設レイアウトに関わる事項	① 委員会対応／基本的な考え方	○作業はちょっと時間が足りないので、委員会は「より目立たなくなるような工夫をする」ぐらいの目標像としては記入する。芝生の方の「丘作り」は方針として書いておく。備蓄資材の盤を下げたら土量がガツと出るのでこっちはトータル的にコントロールする。また今出た意見を方針として盛り込んで、土量バランスを考えながら実施設計する、という記述にする。 ○「みせる備蓄資材」っていうのは本気じゃないよね。 ●「隠すな」っていうのが、国土交通省の方針です。必ず見せなければいけないっていうのはない。 ○悪い事やっているわけじゃないから見せるというのはとても良い方針だと思うけど、ここは観光施設にしようとする場所だから。 ○配置計画を今言った形で、土の量変わらないようにしながら、広場で子供が遊べるようにすることと、備蓄資材が目立たなくなるよう、さらに実施設計でがんばりますみたいなことを書いていただくということで決まりですね。
	② 広場（備蓄土砂埋設）	○「範囲内にも植樹しよう」って話をしなかったっけ。範囲内にも植えて、その分ちょっと周辺に土砂増やせばいい。必要な立米数あればいいでしょう？例えば、この辺に木が植わっているとすごくいいよね。 ●敷地内で収まるのであれば大丈夫です。 ○床掘りして3本ぐらい高木を植えて、その分小山を造って帳尻合わせればいい。それぐらい対応できる重機オペレーターいるよね。 ●大丈夫です。 ○そういう図にしようよ。この①は「土砂埋設範囲」も”工夫して”、もうちょっと広場的に使いやすくしましょう。図面に例示的に表現しちゃえばいい。

大分類	小分類	説明 (●)・意見 (○)
2. 防災ステーションの施設レイアウトに関わる事項	③ 連節ブロックを溝に置いて目立たなくし、減少した盛り土量で広場に山をつくる	<p>○連節ブロックのところは、線的な植樹をしないと何ともならない気がする。その線的な目隠しをどうするかっていうのはちょっと宿題。これ連節ブロックは埋められない？溝に置いておくのは？</p> <p>●前は全て埋めたのですが、今は埋められません。水防活動の妨げになるので。溝に置くことはできるが、盛り土の量が減ってしまう。ここの盛り土は河道掘削の分を使うということで庁内調整してしまった。</p> <p>○その分ちょっと盛土を増やせばいい、広場の方に。平らなところにアンジュレーションつけて。</p> <p>●丸森町さんが何に使うかによります。当初はグラウンド的な使い方を考えていました。</p> <p>●元々グラウンドにして使うつもりで、今のように遊具的に使う発想ではなかったのでアンジュレーションつけていない。</p> <p>○要は健康とアウトドアだから、ここは子供が遊んで楽しめる、大人もアウトドアっていう場所に。まっ平じゃない方がいいよね。へりに影響ないところは少し盛ってというアースデザインを。</p> <p>●そうすることはできますが、元々地上2mの高さに盛る計画でやっていた。去年の委員会の中で、ここをグラウンド的なものとして使いたいの、平場にしてほしいというリクエストがあったので、設計を変えたんです。それを覆されてしまうと。元々グラウンドにして使うつもりで、今のように遊具的に使う発想ではなかったのでアンジュレーションつけていない。</p> <p>○そうでしたよね。申し訳ない。その方がいいだろうと思って。</p> <p>●基盤の設計は今年だが、上物は違う。ランドスケープの話はもうひと段階ある。</p> <p>○ブロックを埋めなくて溝に置くとなると、地盤を下げる。その分の土量を決めておかないと内部調整崩れちゃう。土量バランスさえ取ればいい。実施設計だと本当に側溝まで描いてあって、全部それかきなおすのは本当にかわいそうだけど、これそこまで描いていない、変動しないよね。</p> <p>●そうです。</p> <p>○ハンモックとかを借りて遊びに来た子たちが日常自分の家庭ではないことを経験できたら。小さいときから木や自然にふれる入り口とかきっかけ作りみたいなものが防災ステーションの中にちょっとあってもいいのかなと思った。植樹っていうだけじゃなくて、目隠し、子供の遊び、あと教育という観点から、その3要素を入れるような仕組みで。</p> <p>○広場のところで半分イベントができる。フラットでいいですけど、半分その奥側をちょっと小高い山にして、ハンモックとか、木登りできる、いわゆる子供のプレパーク、既存の公園じゃないような公園であるとおもしろい。子供は喜ぶます。ケガもするだろうし。</p>
	④ 備蓄資材の活用（岩ズリの開放—しかし難しい）	<p>○岩ズリって開放しちゃう駄目かな。知り合いの建築家が京都会館で碎石を使って石堤を作った。テンポラリー（一時的な）作品。最初は作品なので通れなかったけど、子供に開放したら大人気だったらしい。みんな上り始めて。転んだら擦りむくようなものだけど。そんなふうに開放コーナーにできないかな。</p> <p>●災害復旧用の岩ズリなのでかなり粗い。矢印のように尖っており、かなり危険。50～60cmぐらい。</p> <p>○成型に盛らずに、適当にもモワーツと盛って。遊び場として開放するのではなく、「柵を設けていない」って状態にしておく。</p> <p>●それでも管理瑕疵は問われてしまう。</p> <p>○活用は難しいかもしれないですね。子供は喜ぶますけど、ケガもするだろうし。</p> <p>○そんな岩場はそもそもあんまりないしさ、それでガーッと積まれていたら子供は楽しい。</p> <p>●開放は難しいです。</p> <p>○難しいか、じゃあ隠さないとダメだな。</p>
	⑤ 備蓄資材の修景	<p>○薪ラックはすごく良いアイデアと思ったけど。竹垣作るか。</p> <p>○この状態ではやっぱり観光地にならない。</p> <p>○竹垣もずっと青い竹ではないから、植樹した方がよい。</p> <p>○竹垣もメンテが大変か。竹垣と生垣の管理だったらどちらが。</p> <p>○竹垣だと7年に1回は交換しないとイケない。変色をよしとするかどうかですけど、やっぱり劣化するので。</p> <p>○竹垣の方が安いかな。</p> <p>○いや、将来的に考えたとき、生垣の方がいい。竹垣は6-7年に1回は更新が必要。生垣は毎年剪定が必要になるが、そっちの方が多分トータル的には安くあがる。</p> <p>○こういうところに植栽するのであれば、総合的にデザインすることが必要かと思う。高木と低木、花が咲くものなど、全体として綺麗に収めないとイケない。</p> <p>○正しいこと言いますね。岩ズリは、成型で盛らないでちょっと「乱積み」にしてほしい。その方が自然に見える。こういう岩がすごく綺麗な台形状に積んであると、人工的な感じで違和感がある。だから適宜自然に積む。そして全体のランドスケープを計画して、その中でヘリポートのすぐ下のところ、連節ブロックの前のところをどう隠すか。ここは直接隠さないと多分、変な感じになる。竹垣か生垣か。高さは1.25mなので、それなりに大きくなってくれるような植栽で隠す。</p> <p>●おすすめの樹種は</p> <p>○それこそさっき言ったように、総合的な計画で。いかようにもうまくできると思う。</p>
	⑥ 薪の利用（放射能で難しいか）	<p>○薪置き場が欲しい。柵で目隠ししつつ備蓄する。見た目もやっぱり素敵だから。ここを薪ステーションにしたらいんじゃないかっていう話もでた。これから多分電気すごく高くなるから、薪の需要は増えてくると思う。なかなか今は少ないけれども、絶対薪が来ると思う。</p> <p>○森林組合に関わっているメンバーはいないのかな。</p> <p>●丸森町単独で組合があります。</p> <p>○林業は絶対これから来る、おっしゃる通り。ウッドショックで建材も値上がりしているが、アマゾンでガンガン切るとかできなくなると国産材は重要になってくる。ほっといても向こうの値段が上がるので相対的にこちらの値段が下がります。チャンスになる上に、エネルギー事情も昨今大変ですよ。そうするとちゃんと間伐してちゃんと育てるっていうモチベーションが生まれてくる。</p> <p>●森林組合は売るところあれば売ると思いますよ。</p> <p>○自伐やっているとこもあるし、多間伐をやっているとこもある。やろうとしている方はちらほら町の中でもいる。</p> <p>○やっぱりその里山の活用とか項目を立てて、利活用の方にも竹林の話があったじゃないですか。そこまで含めて入れておく。薪置き場も。へりの高さ制限はどこまでだっけ。ちょうど目隠しにするのだったら、L字型に薪ラックがあって、高いとかっこいい。2メートルぐらいかな。</p> <p>○薪の話すごく良いですけど、放射能はどうかなって。それがなければ若者で自伐と間伐をやっている人たちが来て薪ステーションにはなるんですけど。そこだけが。</p> <p>●この辺は多分焼却灰として処分しなくちゃなんない。</p> <p>○もうちょっと待つしかないか。筆甫の向こう側が一番さらされた場所なので一番ひどい。それ以外は大丈夫じゃないかって気がするけど。でも知っている人は知っているから難しいか。</p> <p>●燃やすと濃縮するので、おそらく8000バクレルを超えかねない。</p>

大分類	小分類	説明 (●)・意見 (○)
3. 周辺整備について	①対岸高水敷の樹木伐採	<p>○これ全部ハゲにしちゃうと、堤防見るだけになる。それと堤外民地の畑。見えてそんなに幸せかと言われてそんなに幸せじゃない気がする。もう一つ、このぐらいの規模で例えば本当にハゲにして、牧草地にしてあまり大きくない気がするけど、使い勝手はどうですか。</p> <p>○河川のギリギリまでは開発はできないと思います。これは作業機械が入れる部分というのがあります。河岸は砂地になっているところが多いと思いますが、そのこの部分に関しては通常は入らないで景観を維持する程度のことになると思います。現状、国交省さんの土地になっているところを伐採することになります。民地にはもう林木がある状態なので、その前面が牧草地として刈り取られても、全部がハゲになることはない。刈り取った後っていうのは芝生のような風景に見える。全ては開発できないということと、あわせてある程度の樹木は残るといこと、元々堤防側のところが民地ですけど、実際緑になっている、もう結構木が生えている部分がある、なので、その部分が完全に平らになるイメージにはならないということです。</p> <p>●点線の中にも一部民地があります。堤外民地の伐採は同意がいただけるかどうかもある。</p> <p>○言われるように全部牧草地になったら本当に堤防しか見えない簡単な風景になる。面積について、どこまで作れるかっていう問題もあるが、川べりではまず無理だということ。民地と河川の境目に約1mの高低差があり、民地の方が1mぐらい高い。河川の方に入ると1mくらい下がっているはず。川の橋の上からもわかる。</p> <p>○綺麗にある程度管理したっていう姿は見た方が、生い茂っている状態を見せるよりは遥かに良い。</p> <p>○全部ハゲ山になるんだっと思ったら思ってたけど、問題ないってことですね。その辺のイメージが伝わるよう資料作りをお願いします。</p>
	②水辺の学校	<p>○もう一つ、水辺の楽校でせせらぎ水路とかやめようって言わなかったっけ。これはこうやって遊べというのは今どき流行らない。本物の川がここにあるのに。子供でも遊びやすいような自然な川にしか見えない場所を作った方がいいと思う。子供に遊びかたを命令する場所を作るのではなくて、こっそりと。したがってちょっと書き方の問題です。</p> <p>○飛び石はこの写真のようなイメージになるのではないかな。</p> <p>○こうならないよね。ここに落差工とか帯工はないよね。</p> <p>●はい。もう少し上流の方に行かないとない。</p> <p>○内川は土砂を吐くので、ちょっとなんか上からきたらすぐ埋まる。</p> <p>●ただこれこの形って決まっているわけではない。必ず飛び石でないといけないってことではない。フットパス等の案がある中で、ここをショートカットで渡れるといろんな範囲が広がるのではないかとということで提案しました。</p> <p>○対岸に渡りやすくなるような整備を検討ぐらいにしておこう。</p> <p>○ちなみに阿武隈川と内川の合流点って難しいです安定しなくて、ちょっとしたバランスの違いで変わってくる。委員会における資料として水辺の楽校は、川に親しみを覚える施設をじゃなくて環境を整備にしましょう。施設・ハード整備じゃなくてそういう環境を作っていく。</p>
4. 水防センター整備方針+水防センターの整備・運営の体制および費用について	① 建設費用の捻出／維持管理費の考慮	<p>●水防センターのうち防災に係る部分は、都市防災関係の補助金を利用します。町負担分は、防災・減災の起債で対応。</p> <p>○補助金と起債で対応するということですね。</p> <p>●「観光まちづくり」の部分については、参考資料1にある「地方創生拠点整備交付金」と過疎債で対応する予定です。</p> <p>●(補助金と起債／町負担について) 例えば建設費を10億円としてわかりやすく説明します。10億円に対して5億円の補助金が来て、残り5億円を借金する。丸森町の場合、過疎対策事業債が使える。過疎債は、元利償還金の7割が交付税算入なので、実質負担が5億円の30%ということになります。ただ過疎の起債の枠も限られているので、5億円要求して5億円全額交付されるかどうかは、その年によってでこぼこがある。</p> <p>○借金返済するときに利子を補助してあげるという話はきくけど、元本も補助してくれる。この事業はお金がかかるので、今のところはそういう立て付けで検討を進めていきます。ただ前回は含めて申し上げているのは、そういった形の立派な建物ができると、建物の維持管理費は結構かかる(特にRCの建物は)。新しく作るのにはいろんな制度があるけど、賢く維持管理をしていくための制度が全然ないっていう状況なので、あんまりそうならないようになるべく民間がリスクを持ってやった方が町財政としてもいいし、そういう経営感覚をきちんと持ってこういう制度を考えてみた方がいいですよという話をずっとしてまいりました。</p>
	②飲食施設の災害時炊きだし対応と平常時利用の整理	<p>●(町全体に) 行きわたらせるような炊き出しじゃなくていい。水防センターは、例えば後方支援で館矢間地区の施設に入ってもらったような「警察・消防・自衛隊のベース」を想定したとすれば、100食できれば何とかかなと思う。あるいはそれに車で避難したこの辺からの避難者を合わせても、MAX200ぐらいですか。豚汁だったら200杯ぐらいのイメージです。</p> <p>○それが1ヶ月つづくというのではなく、車で来ただけだったらアルファ米と豚汁を提供するというのであれば、大きな厨房はいらない。</p> <p>●(飲食の事業者) そんなに迷惑かけるイメージはないですよ。</p> <p>○仮に大規模な炊き出しを行うのであれば、水防センターの方で大きいプロパンをメインに用意して、アレルギー対応などの特別食に厨房を使うということでもいい。</p> <p>○そんなイメージでいいと思います。丸森町内は、500窯があっちこっちにあり、多分、非常時はそれで対応できる。平時の厨房でいい、災害1週間は借りるとかっていう契約。</p> <p>●それでいいと思います。</p> <p>○それぐらいのバランスでいきましょう。メインの炊き出しはもう外で。今の時代は、アレルギーやお年寄りとか個別対応しなきゃいけない食事に対応する。そうすれば、日常利用との軋轢がすごく減る。災害時に200食出すための厨房をC工事でテナントが用意なんて誰も手をあげないと思います。</p>
	③マルモリカフェの特徴	<p>○(建物のデザイン) 旧アジノサトさんの後を利用していただいている。よく考えられて作られている建物で、車いすのお客様の方が入りやすい設計になっている。車椅子のお客様がいらっしゃることでちょっと席を間引きして動線を広くとっている。</p> <p>○最近座敷があることを認知してくださって、赤ちゃん連れのお客様が座敷利用でかなりのご予約を入れてくれる。</p> <p>○カフェを併設しているということと、それから丸森町のこの通り沿いに、カフェというのがまずなくて、マツリちょっとお茶を飲みながらお話ししたい、ママ会したいであるとか、あと帰省してきた娘さんと一緒にご飯食べてちょっと家庭とは違うところでお茶をしたいっていうようなお客様が見えます。</p> <p>○都市部の帰省してくる娘さんたちを見るとベビーカーとか、仙台方面からのお客様はベビーカーを車に乗せていらっしゃる方が多い。「ベビーカーごとはいいですか。」「ベビーカーで赤ちゃんが寝ているので、そのまま座らせて、自分はお茶を飲みたい。」ってシーンをみかけるので、ちょっとゆったりした空間がいい。</p> <p>○あとはお客様との距離ですよ。お客様たちが隣のお客様の距離を気にして、一緒にいらっしゃるお客様同士でギュッと席をよせて、他のお客様とは離れたような印象を受けます。スペース的にはちょっとゆとりのある空間の方が時代的にもいいのかなと思います。</p>
	④ターゲット	<p>○飲食施設は、イメージがおしゃれなサウナと一致しないといけない。そうじゃないと相乗効果はない。本格的なサウナはキャンプ場の方に行ってもらって、入門編みたいな感じだけでも、そのイメージ、やっぱりフィンランドサウナのイメージと一致するような飲食。だからターゲット層としては「アウトドアと健康」に敏感なちょっと流行にもうるさい方々。</p> <p>○MARUMORI SAUNAに関しては、30代、40代が中心で、20代50代も。川に入るっていうところだけが大切なわけではなく、気持ちよさを出すには、その場所々々で絶対違うので。そうですね、必ずしも川にダイブだけではなくて、天然の井戸水を使ったり、あそこのロケーションとか風の抜け感とか全体でコントロールして、あそこらしさは必要だろう。おしゃれだけだと東京でいい。あそこらしさを追求するのは大事。</p> <p>○ターゲットとしたらそういうアウトドアに興味を持ちそうな人かな。勝手に思っているのは入門編サウナに合うイメージのレストラン、場合によってはトレイルを歩いていてお茶を飲みたい。そういうちょっとした場面がアウトドアと健康で発生しますよね。カフェって一番質が高い有料休憩所になる。これだとそんな儲からない、中津川さんが教えてくれたように。そうするとサウナとか健康とかアウトドアって最先端の今の流行だけど、定着していく話だと思う。トレイルも。そういうのを囲い込んでいって、何かやれるようなレストランかな。</p>
	⑤経営体の確立にむけて／当面の進め方	<p>○(今日の議論で) いろんな新しいポテンシャルが感じられる。ただ実際に誰がどうやって動くの、レストランを受け入れてくれるのって話。その人の家賃負担力、コンセプト、規模、どの辺がベストか。テナントで入りますと腹をくくってくれる方が考えるのが一番いい。その家賃負担でペイできるような、例えばS造から始めて調整していくのだから。だから早めにテナントを決めて、そこから先はもうこういう会議で議論する話じゃない。腹をくくってくれる人が、経営者の責任を持って決めていただく。横槍を入れるべきじゃない。責任を一人に背負わせたくないのだったら、たとえば丸森合同会社とかいう会社をつくって、皆さんそれなりに出資していただいてリスクを背負う。でもそれはそれでいろんな人の顔を伺いながら、経営しなければならぬので失敗しそふ気もする。やっぱり誰かが責任を持ってちゃんと回していただくの個人には思っています。</p> <p>○なんとなく方針が見えてきた。「健康とアウトドア」、サウナにふさわしい、アウトドアに意識が高い系の人に向けてうまいことやっていければ。食も精進料理とかオーガニック、言い方次第。この話はちょっと継続的にまだやっていける余裕があるので、当座の行政に対しては、今日の前半戦で議論させていただいた点を修正して、一番お金がかかるRC造で予算を確保いただいて、その方向で動いていながら、実際にはここで経営・運営をしてくれる組織体制は作っていかないとはいけないので、引き続きやっていきましょう。</p>

## 第 2 回 丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会

### 1) 開催日時

令和 4 年 11 月 22 日 (火)

10 : 00 ~ 11 : 15

### 2) 開催場所

丸森町役場 第 1 委員会室



### 3) 出席者

団体名	所属等	氏名	備考
東北大学	教養教育院 総長特命教授	田中 仁	委員長
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	平野 勝也	
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	柴山 明寛	
国土交通省東北地方整備局	仙台河川国道事務所副所長	平舘 淳一	
国土交通省東北地方整備局	宮城南部復興事務所副所長	斎藤 巧	
宮城県	大河原土木事務所副所長	高野 晃	
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭	欠席
丸森町商工会	会長	白木 寛一	
丸森町消防団	団長	佐野 昭一	
丸森地区協議会	会長	岡崎 俊範	
丸森町役場	副町長	佐々木 秀之	副委員長
〃	総務課長	大内 一郎	
〃	企画財政課長	長門 修	
〃	復興対策室長	佐藤 徳和	
〃	建設課長	八巻 一浩	
〃	農林課長	引地 誠	
〃	商工観光課長	宍戸 光晴	

### 4) 議事次第

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 検討事項

(1) 検討部会の開催経過について

(2) 丸森地区河川防災ステーション利活用方針について

(3) 検討委員会への要望事項について

(4) その他

## 5 閉 会

### 5) 配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料-1 名簿
- ・ 資料-2 配席図
- ・ 資料-3 第2回丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会 説明資料
- ・ 資料-4 (仮称)川の駅(水防センター+観光交流センター)「健康とアウトドア」をテーマとしたブロックプラン
- ・ 河川防災ステーションにおける資材備蓄の事例

### 6) 協議結果

#### (1) 検討部会の開催経過について

事務局から検討部会の開催経過を報告。

#### (2) 丸森地区河川防災ステーション利活用方針について

河川防災ステーションを起点とした周遊について

(主な意見)

- ・ 河川防災ステーションから町内ほか周辺の拠点への流れをつくるため、自転車の活用を検討したい。
- ・ 内川等の支川の堤防天端拡幅と遊砂地の整備に併せ、河川防災ステーションと遊砂地を巡りサイクリングルートを設定したい。防災教育となるし、健康とアウトドアという利活用のキーワードにも一致する。
- ・ フットパス・トレイルの来訪スポットとして、町のシンボルとして再整備している丸松(直径200mの円状に植林された箇所)や土木学会の選奨土木遺産に指定された丸森橋をPRしたい。

水防センターの整備について

(主な意見)

- ・ 防災井戸を設置し、その重要性について発信することは非常に良い。
- ・ 展示ホール(防災学習室)を2Fに設ける場合、先行事例を参考に来訪者の案内等を工夫する必要がある。
- ・ 発電機と燃料タンクの設置が計画されているが、平常時の維持管理が負担となることから、災害時に必要となる機能・規模と併せて再度検討してほしい。

- ・周辺での活動（例えば林業に係る活動など）の、活動前の集合場所、駐車場、会議室の利用についても想定している。

### **（３）検討委員会への要望事項について**

#### **河川防災ステーションの整備について**

##### **（主な意見）**

- ・観光交流施設としての平常時利活用のため、樹木で備蓄資材を目隠ししたい。フェンスを設置する場合は、そのデザイン性に留意する必要がある。
- ・備蓄土砂を地中埋設としている箇所について、子どもの遊び場となるように起伏をつけた仕上げとしたい。

### **（４）その他**

#### **対岸高水敷の樹木伐採について**

##### **（主な意見）**

- ・対岸高水敷の樹木伐採については、堤内民地で耕作している方に事前に情報共有をする必要がある。
- ・対岸高水敷について、アクセス坂路の設置やドローンフィールドとしての利活用を検討したい。

#### **今後の予定**

- ・12月に利活用部会で先進事例（名取市のかわまちてらす閑上、石巻市のいしのまき元気いちば）の視察を予定している。
- ・本検討委員会と今後の利活用部会での検討結果について、住民説明会を予定している。
- ・次回検討委員会は3月に開催し、今後の部会における詳細検討と住民説明会の結果を踏まえ、今年度の利活用検討内容について承認いただくことを予定している。

以上



- 目次 -

(1) 河川防災ステーション利活用方針 ..... 1

(2) 河川防災ステーションの施設レイアウト ..... 5

(3) 河川防災ステーションの整備・利活用イメージパース ..... 6

参考-1 水防センター整備方針 ..... 7

参考-2 周辺整備について ..... 8



桜づつみ公園

丸山城址

対岸高水敷

[参考] 計画地周辺 航空写真

# (1) 河川防災ステーション利活用方針 (概要)

▶ 平常時の利活用方法について、委員会の意見や部会で新たに提案された意見について検討を進めたところ、次のようなキーワードとアイデアが整理された。

## キーワード

健康 ~ health ~

&

アウトドア ~ outdoor ~

訪れた人の健康増進に寄与するような野外アクティビティ等、丸森の豊かな自然を活かした利活用を展開する

## 利活用アイデア

防災学習



フットパス・トレイル



サイクリング



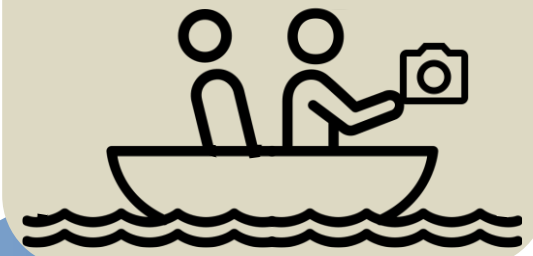
丸森ならではの食



健康  
~ health ~

アウトドア  
~ outdoor ~

阿武隈ライン舟下り



健康とアウトドア  
(サウナ)



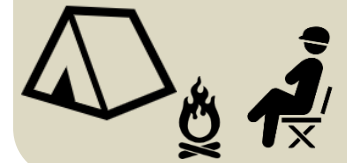
マルシェ



バーベキュー・芋煮



キャンプ・焚き火



竹・木材の活用



## ■ 関連する主な意見

- ・ 今後、より具体的な検討を進め、PRに活用できるようなキャッチコピーを作成したい
- ・ 林業分野の担い手や放置竹林の解消に取り組むNPOなど、丸森の里山に関わる団体とも繋がりを持つ拠点としたい

## 健康&アウトドアをキーワードとした具体的なアイデア

### 1. フットパス・トレイル

鳥屋館や3ヶ所の渡し舟（細内、神明、赤ヶ崎）があった「丸森の歴史の肝」である阿武隈川右岸を、散策路『かわみなとフットパス』として整備し、町と川のつながりを学ぶ。ロングトレイルとして、『みちのく潮風トレイル』に接続する広域ルートも併せて検討する。

### 2. サウナ

防ステ計画地の開放的なロケーションを活かし、丸森の豊かな自然へのゲートウェイとなるようなエントリーレベルのサウナを設置する。

### 3. 阿武隈ライン舟下り

### 4. 丸森ならではの食材・料理

### 5. サイクリング

### 6. アウトドア用品の販売

トレイル愛好家向けに『川風トレイル』を設定し、他ルートとの広域連携を図る

- ・みちのく潮風トレイル
- ・町内の里山や県立自然公園を結ぶルート
- ・齋理屋敷等のまちなかルート

至 亘理町 ↑

深山鎮魂の鐘

山元町

馬船峠

防ステ計画地

台町古墳群

政宗初陣の地、小斎城（柴小屋館跡）小斎物見櫓ほか

百々石公園

丸山城址

金山城址

④ 鳥屋嶺神社へ

① 船場地区から

② 丸森中学校脇の河川運動公園

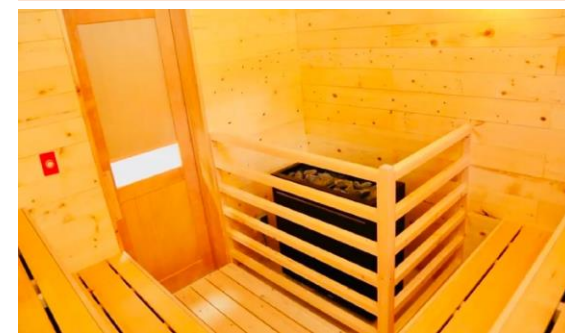
③ 鳥屋館跡の散策路

整備施設（案） 散策路、休憩スペース、眺望広場、フラワーロード（花壇）等

かわみなとフットパス 約3km(徒歩約35分)

① 河川防災ステーション・阿武隈ライン舟下り 乗船場 → ② 鳥屋館 → ③ 船場地区（フラワーロード整備） → ④ 丸森橋 → ⑤ 姥石 → ⑥ 丸森大橋 → ⑦ 河川防災ステーション・阿武隈ライン舟下り 乗船場

【参考写真】 MARUMORI-SAUNA



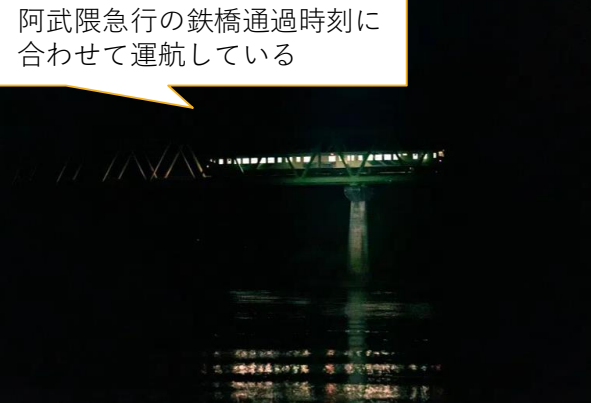
## 健康&アウトドアをキーワードとした具体的なアイデア

1. フットパス・トレイル
2. サウナ
3. 阿武隈ライン舟下り  
今年度はナイトリバークルーズの運航やSUP・カヌーの体験も実施している
4. 丸森ならではの食材・料理  
A2ミルク等、特色ある丸森の産品で、「ここでしか食べられない料理」を提供する
5. サイクリング
6. アウトドア用品の販売

### ナイトリバークルーズ



所要時間：約1時間  
 料金：大人3,500円、子ども1,800円  
 拠点施設：阿武隈ライン舟下り乗船場



阿武隈急行の鉄橋通過時刻に合わせて運航している



民家の灯りや街灯がほとんどないため、満点の星空を楽しめる

### 丸森リバーアクティビティ (SUP、カヌー)

メニュー：SUP、カヌー (カヤック)  
 所要時間：約1時間半  
 料金：大人4,000円、子ども2,000円  
 拠点施設：阿武隈ライン舟下り乗船場



NHK NEWS WEB

宮城 NEWS WEB

### 阿武隈川の“新しい楽しみ方”

09月13日 20時02分



宮城県の南部を流れる阿武隈川。その豊かな自然を体全体で感じてもらうと、丸森町では、去年から、ボードの上に乗ってパドルをこいで進むSUPやカヌー体験が行われています。「てれまさむね」の岩間瞳キャスターが阿武隈川の新しい楽しみ方を体感。

鳥のさえずりや、みなもの揺らぎなど、川の魅力を間近で感じることができました。「NHK 宮城NEWS WEB」でご覧いただけます。



カヤックと体験者をエントリー地点まで船で運搬

「いいね！」しました

### 【事例写真】

あそ望の郷くぎの(熊本県南阿蘇村) あじわい館の「あか牛丼」

特産の阿曾牛を使用した牛丼



### 【事例写真】

HASSENBA (熊本県人吉市) 九州パンケーキカフェ

地域に少ない形態・雰囲気のお店



### 【参考】A2ミルク

A2ミルクとは、βカゼインのタイプがA2タイプのミルク。おなかがゴロゴロしない。町内の酪農家で生産に取り組んでいる。

# (1) -3 防災ステ利活用方針 (5. サイクリング、6. アウトドアメーカーとの連携)

➤ 健康&アウトドアをキーワードとした具体的なアイデア

1. フットパス・トレイル    2. サウナ    3. 阿武隈ライン舟下り    4. 丸森ならではの食材・料理

5. サイクリング  
防災ステーションを起終点に町内を自転車で周遊する

6. アウトドア用品の販売  
アウトドア用品メーカーと連携し、防災ステーションでのアクティビティや災害時に役立つアイテムを販売する

## サイクルステーション

拠点名	地域交流拠点 まどい	ひっぽのお店 ふでいち	いなか道の駅 やしまや	カフェ ペルシッカ
所在地	丸森地区	筆甫地区	耕野地区	丸森地区
サイクルラック	—	●	●	●
トイレの提供	●	●	●	●
休憩場所の提供	●	●	●	●
給水	●	●	●	●
空気入れの貸し出し	—	—	●	—
工具の貸し出し	—	—	●	—
周辺施設等の情報提供	—	●	●	●
飲食店	●	●	●	●
その他	—	—	—	—

出典：TABIRIN (2022年2月時点)

## アウトドア用品メーカーによるエリア利活用事業

### 【事例】モンベル五ヶ山ベースキャンプ (福岡県)



モンベル 五ヶ山ベースキャンプ管理棟

那珂川市とモンベルが包括連携協定を締結し、ダム周辺整備事業においてキャンプ場を修正設計、現在は指定管理制度によって運営を行っている (モンベルの包括連携協定は全117件。R4年12月8日時点。宮城県では加美町、気仙沼市)

管理棟の機能  
 ・キャンプ場の宿泊受付  
 ・物品の購入・レンタルの予約受付  
 ・トイレ、コインシャワー施設

同じく五ヶ山ダム周辺に位置する「モンベル福岡五ヶ山店」でレンタサイクルサービスやアウトドアイベントを展開

Snow Peakも高知県越知町の観光拠点施設「スノーピークかわの駅おち」やキャンプ場において、指定管理・直営により、施設の運営・維持管理とアウトドア用品の販売・レンタルを行っている。



つくば霞ヶ浦りんりんロードは国交省によって「ナショナルサイクルルート」に指定 (2019年11月)

### 【事例写真】



輪行箱が入る大きさのサイクリスト用ロッカー (仙台空港)

## サイクルターミナル

サイクリストの受入れに特化した施設

拠点名	仙台国際空港 サイクリングポート	名取市サイクル スポーツセンター	りんりん ポート土浦	りんりん スクエア土浦
宿泊	—	●	—	● (併設)
食事	●	●	—	●
レンタサイクル	—	●	—	●
ロッカー・シャワー	●	●	●	●
メンテナンススペース (工具貸出)	●	●	●	●
手荷物預かり	●	●	—	●
自転車受取・発送	●	(●)	—	●
温泉	—	●	—	—
駐車場	●	●	●	●

その他  
ランナーズポートを併設

場内に1周4kmのサイクリングロード

土浦市がサイクリストの交流拠点として霞ヶ浦を望む場所に整備

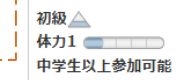
茨城県が事業主体となり、土浦市及びJR東日本と連携して整備

出典：TABIRIN (2022年3月時点)

### ◎ はじめてのサイクリング 五ヶ山クロス

参加料金 ¥4,900 (税込)  
開催地域 九州 (福岡県) 主催 モンベル 福岡五ヶ山店  
カテゴリ サイクリング イベントNo. U40J01

日程 0.5day  
2023年2月26日(日)



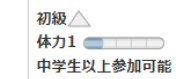
初級  
体力1

都市圏からほど近く自然豊かな五ヶ山クロスエリアを自転車でゆっくり巡ります。途中、豆腐料理のヘルシーレストラン「五ヶ山豆腐」へ立ち寄ります。おいしいパンやお菓子を買って自然の中でコーヒープレイクを楽しみましょう。

### ◎ はじめてのクライミング モンベル五ヶ山・ベースキャンプ

参加料金 ¥6,500 (税込)  
開催地域 九州 (福岡県) 主催 モンベル 福岡五ヶ山店  
カテゴリ クライミング イベントNo. L40J01

日程 0.5day  
2023年3月4日(土)、3月12日(日)、4月1日(土)



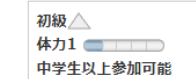
初級  
体力1

モンベル五ヶ山ベースキャンプには約8mのクライミングウォールが設置しており、気軽にクライミングの技術が学べます。道具の選び方や使い方を丁寧にレクチャーします。

### ◎ 山歩き講習会<はじめての地図読み編> モンベル福岡五ヶ山店

参加料金 ¥6,500 (税込)  
開催地域 九州 (福岡県) 主催 モンベル 福岡五ヶ山店  
カテゴリ 山歩き講習会 イベントNo. T40J02

日程 0.5day  
2023年3月11日(土)、4月2日(日)



初級  
体力1

一日で学べる安全安心山歩き講習会シリーズです。「楽になる山歩き編」「はじめての地図読み編」「地図読み実践編」「安心登山技術編」など登山に必要な知識・技術を身につけます。1回のみでのご参加もOKです! モンベル五ヶ山店周辺を歩きながら楽しく学びましょう!

# (2) 河川防災ステーションの施設レイアウト 備蓄資材置き場の修景デザインおよび土砂置き場のアースデザイン

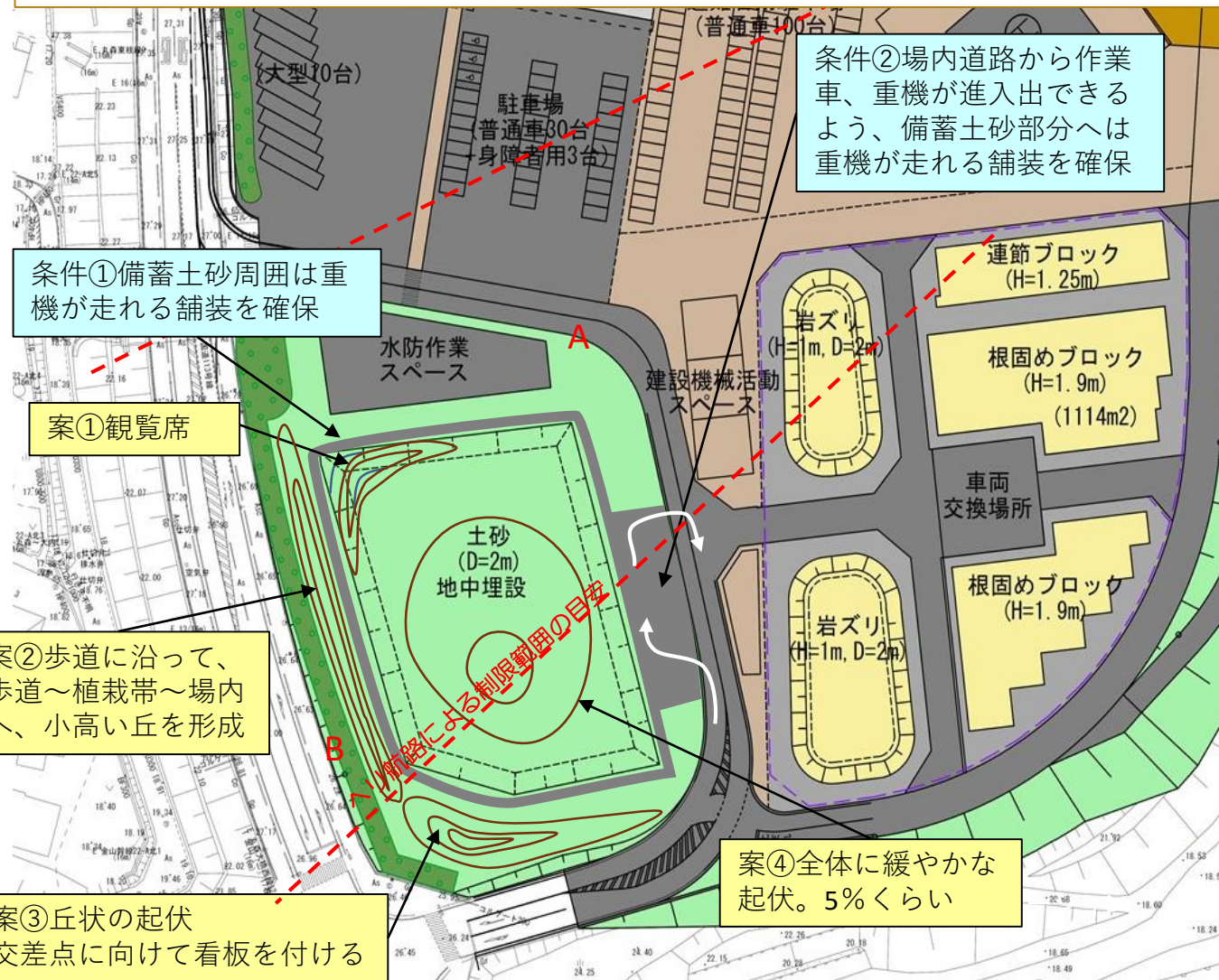
➤ 備蓄資材置き場および土砂置き場については、平常時利活用に配慮したデザインとする。

1. 備蓄土砂を地中埋設としている箇所について、子どもの遊び場となるように起伏をつけた仕上げとし、ところどころに緑陰を設ける。
2. 観光交流施設としての平常時利活用のため、樹木で備蓄資材を目隠しする。フェンスを設置する場合は、そのデザイン性に留意する。

## 備蓄土砂の仕上げ

◆ 備蓄土砂は、地中に埋設し、上面を平常時利用可能としている。非常時の作業を考慮し、場内道路側と備蓄土砂周囲には重機が走行可能なトラフィカビリティを確保する。(下図水色の条件①②)

◆ 備蓄土砂及び周辺の起伏形状について、案(下図黄色)を示す。上面の利用用途にあわせて「平場の確保が必要な面積」を決定したうえで起伏形状を検討する。



## 案①観覧席案

上面を運動施設等で利用する場合、小高い丘を形成して観覧席に利用する案。

## 案②道路側の緑地形成

歩道から植栽帯、場内へ小高い丘状の盛土を連続する案。

## 案③交差点入り口の丘

交差点入り口にやや急な丘を形成する。遊び場だけでなく、交差点側に看板を埋め込むなど、サインとして利用する。

## 案④全体的な起伏

平場ではなく、全体的に緩やかな丘状に整備する。

## 案⑤丘の形成による動線

内川側の施設への動線の両側に丘を形成して、自然と足が向く道のような配置をする。

## 備蓄資材置き場の目隠し植栽、フェンス

【参考事例】



柵と生け垣の例：  
雑司が谷公園（東京都豊島区）

生け垣の種類（葉を楽しむ・花を楽しむ）



オウゴンマサキ



ラカンマキ



フェアリーマгноリア



トキワマンサク

左2枚：  
傾斜をつけた遊び場：  
南池袋公園  
（東京都豊島区）



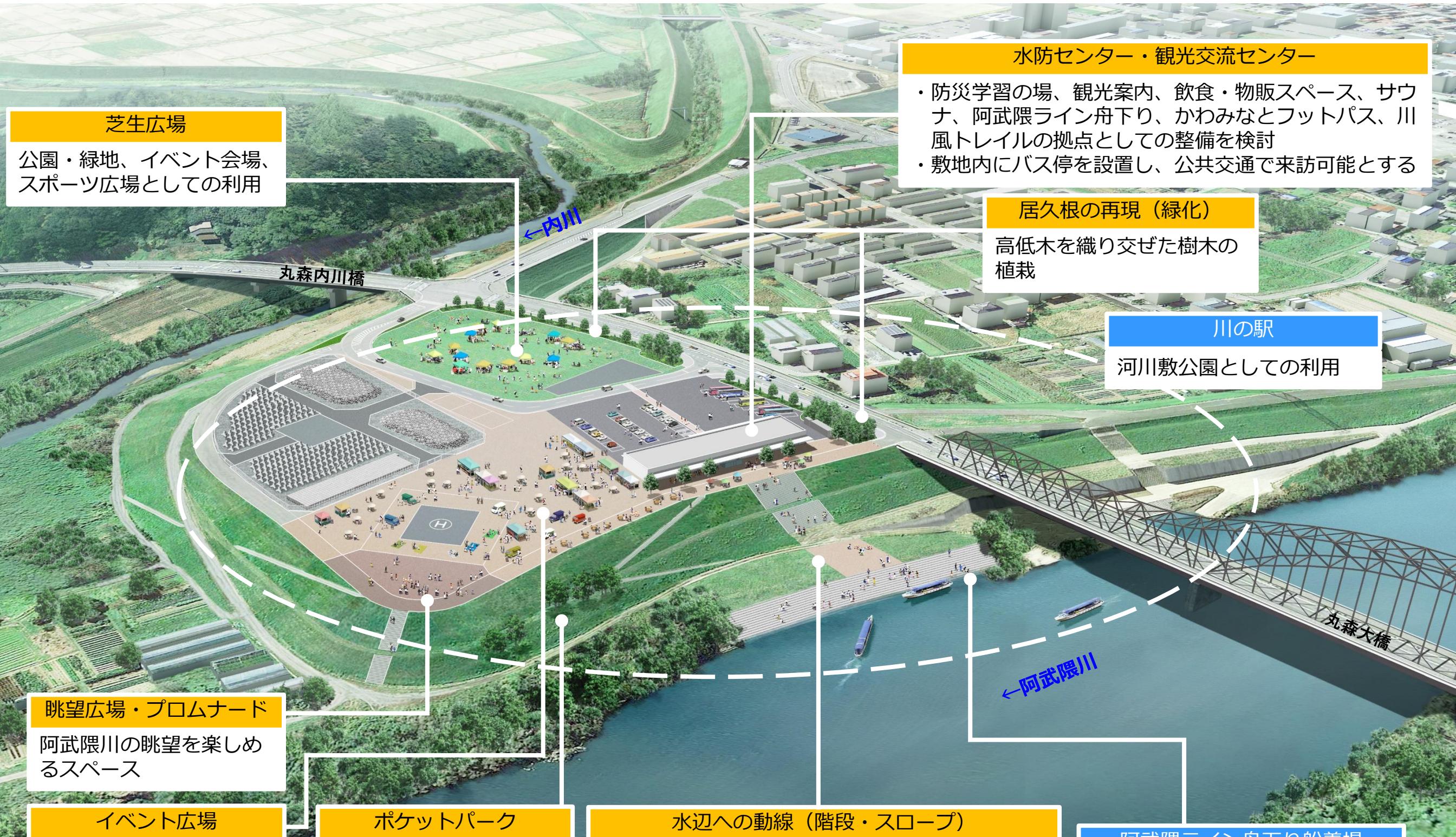
【参考事例】  
起伏をつけた  
アースデザイン



5



右2枚：  
傾斜のある緑地：  
IKE・SUNPARK  
（イケ・サンパーク）  
（東京都豊島区）



**芝生広場**  
公園・緑地、イベント会場、スポーツ広場としての利用

**水防センター・観光交流センター**  
 ・防災学習の場、観光案内、飲食・物販スペース、サウナ、阿武隈ライン舟下り、かわみなとフットパス、川風トレイルの拠点としての整備を検討  
 ・敷地内にバス停を設置し、公共交通で来訪可能とする

**居久根の再現 (緑化)**  
高低木を織り交ぜた樹木の植栽

**川の駅**  
河川敷公園としての利用

**眺望広場・プロムナード**  
阿武隈川の眺望を楽しむスペース

**イベント広場**  
マルシェや軽トラ市等を行えるイベント広場

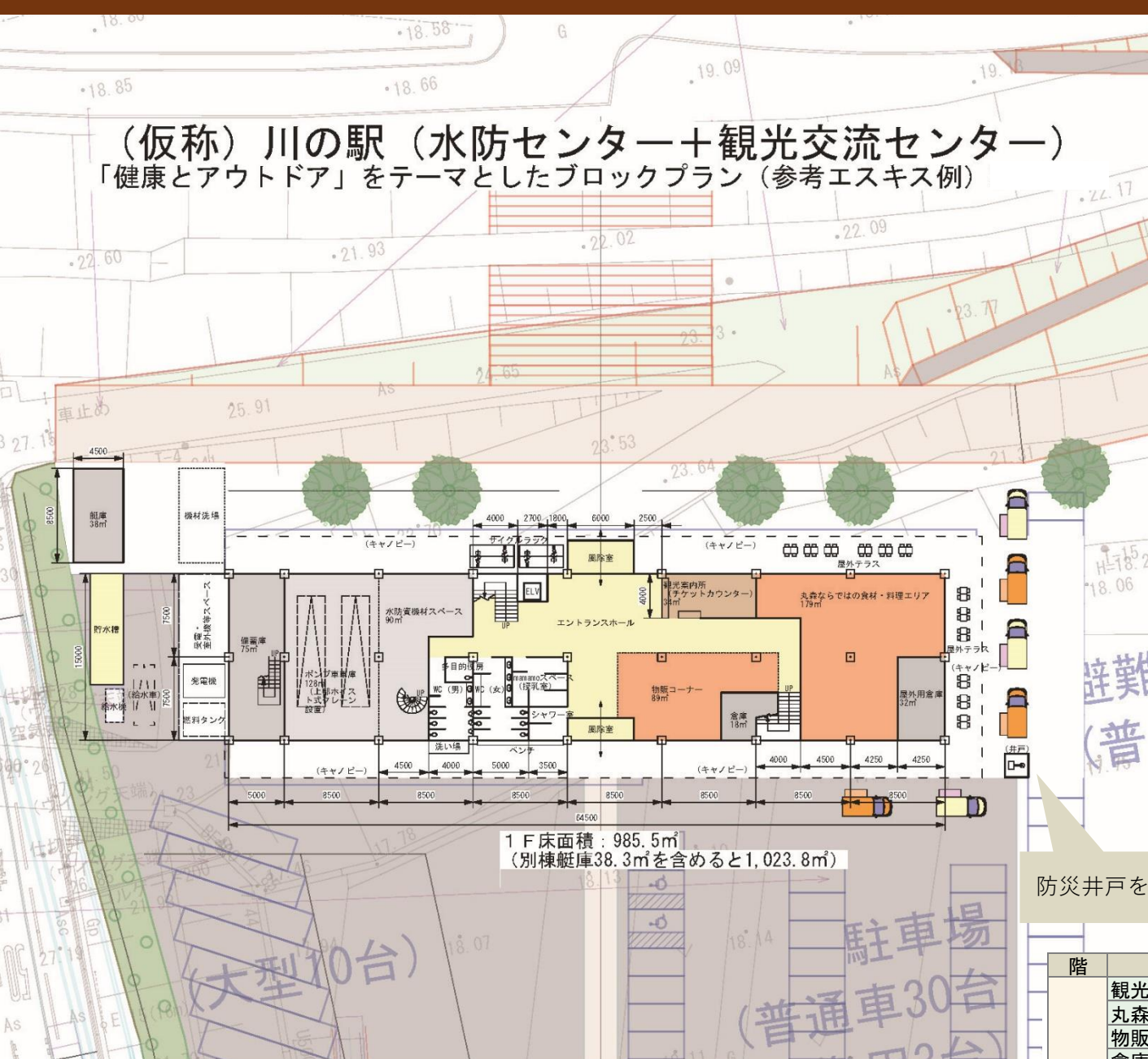
**ポケットパーク**  
既存樹木を保全  
休憩施設の設置を検討

**水辺への動線 (階段・スロープ)**  
チケット売り場のある水防センターから船着場まで、階段・バリアフリー対応のスロープを整備

**阿武隈ライン舟下り船着場**  
階段状の船着場整備を検討

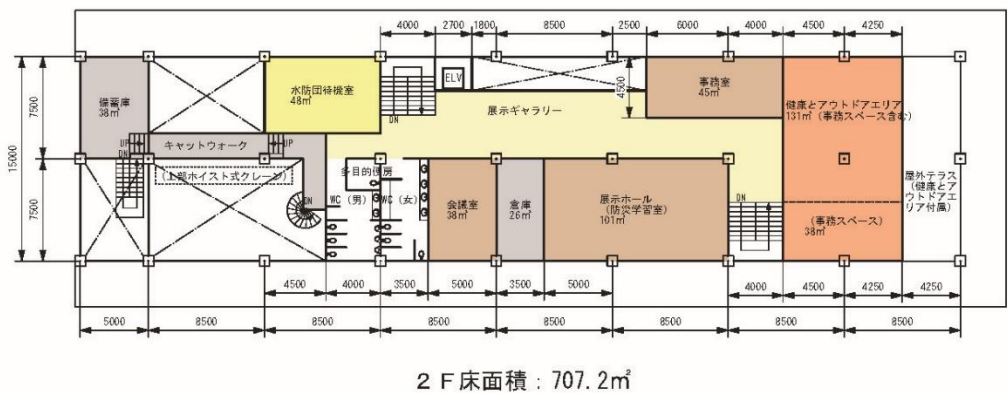
# 再掲 参考-1 水防センター—整備方針

(仮称)川の駅(水防センター+観光交流センター)  
「健康とアウトドア」をテーマとしたブロックプラン(参考エスキス例)



1 F床面積: 985.5㎡  
(別棟艇庫38.3㎡を含めると1,023.8㎡)

防災井戸を設置



2 F床面積: 707.2㎡  
延床面積: 1,692.7㎡  
(別棟艇庫38.3㎡を含めると1,731.0㎡)

- 災害時に必要な機能、平常時の利活用に求められる機能からブロックプランを修正
- 総2階建てRC造、およそ延床面積1,700㎡、建設費8.4億円
- 有事の断水に備え、井戸を設置し、平常時から井戸水を活用する

**規模**

- ・ 総二階建て
- ・ 延床面積1,692㎡

**建設費**

- ・ 耐震性の高いRC造
- ・ 建築単価を50万円/㎡(160万円/坪)と仮定

→ 建設費 およそ8.4億円

**管理・運営体制**

- ・ 管理主体の下、テナント形式で運営
- ・ テナント賃料等の収益の一部を、維持管理費に充当

**テナント構成(案)**

- ・ 観光交流に関する事業者
- ・ 舟運事業者
- ・ 飲食事業者 など

## 諸室の面積と機能

階	諸室名	面積(㎡)	面積(坪)	災害時の機能	平常時の機能	
1階	観光案内所(チケット売り場)	34	10.3	-	やまゆり館の機能を移転	
	丸森の食材・料理エリア(厨房含む)	179	54.1	炊き出し、要配慮者の受け入れ	テナントA	
	物販コーナー	89	26.9	-	テナントB	
	倉庫	18	5.4	-	テナントB	
	水防資機材スペース	90	27.2	水防資機材を保管	水防資機材を保管	
	ポンプ車庫	128	38.7	出勤後は支援物資の集配拠点	町有ポンプ車2台	
	備蓄庫	75	22.7	毛布・飲食物など	支援物資の集配拠点	
	屋外用倉庫	32	9.7	-	日よけやイス・テーブルを保管	
	その他(エントランスホール、トイレ・シャワーなど)	340.5	103.0	一時避難者にも開放	-	
	艇庫(別棟)	38	11.5	救助用の艇	SUP・カヌー	
	計	985.5	298.1			
2階	健康とアウトドアエリア(事務室含む)	131	39.6	要配慮者の受け入れ	テナントC	
	展示ホール(防災学習室)	101	30.6	水防団指令室	防災学習展示	
	倉庫	26	7.9	-	会議室の備品を収納	
	会議室	38	11.5	打合せスペース	イベントの打合せや地域の集まり	
	事務室	45	13.6	-	テナントD	
	水防団待機室	48	14.5	水防団員の仮眠・休憩室	水防団訓練時の打合せ	
	備蓄庫	38	11.5	毛布・飲食物など	支援物資の集配拠点	
	その他(展示ギャラリー、トイレなど)	280.2	84.8	-	-	
		計	707.2	213.9		
		テナントが家賃負担する諸室 計	496	150.0		
	合計	1692.7	512.0			
	(別棟の艇庫を含む 合計)	1730.7	523.5			



### 対岸高水敷の樹木伐採

#### 防ステから対岸への良好な景観を復活

高水敷の樹木は、環境面の機能（生態系保全、景観形成）に加え、治水上の問題（流下能力の低下、偏流や高速流の発生の要因となる）にも関わる。

河川管理者による伐採・維持管理の他、近年は、伐採や再繁茂抑制に繋がる高水敷の利用において、民間活力を導入している事例もある。

樹木伐採時には、堤内民地での耕作を含めた防ステからの見えに十分配慮する。

#### 民間による利用（例）

- ・ 樹木の再繁茂抑制のため、牧草生産地として利用する
- ・ 樹木の再繁茂抑制のため、マレットゴルフ場等として、日常的に住民が利用する
- ・ 樹木の伐採や重機の操縦等、防災に関するイベント・ワークショップのフィールドとして利用する

### 水辺の楽校

子供たちが水とふれあい、学習できる場  
川に親しみを覚える環境を整備

#### 利活用メニュー（案）

水遊び、環境学習、防災学習

#### 整備（案）

- ・ 親水施設：水に近づいたり触れたりできる箇所を設ける
- ・ 渡河施設：河川防災ステーションと桜づつみ公園・丸山城址を結ぶ

#### 公募伐採の事例

##### 渡良瀬川の樹木を伐採・利用して頂ける方を募集しています

- ・ 対象者：資格審査はありますが、個人、NPO、企業、組合等 どなたでも応募可能です。
- ・ 利用制限：伐採した樹木は自由に利用できます。（樹木の採取料は無料です。）
- ・ 伐採場所：桐生市境野町地先の渡良瀬川河川内
- ・ 応募期間：平成30年9月3日から10月31日
- ・ 伐採期間：平成30年12月1日から3か月間



**伐採場所（渡良瀬川）**  
渡良瀬川左岸（群馬県桐生市境野町地先）

**留意事項**  
渡良瀬川河川事務所のHPより募集要領、留意事項をご確認のうえ、同HPに掲載している応募様式にて申請してください。  
渡良瀬川河川事務所HP  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

問い合わせ先  
渡良瀬川河川事務所 管理課  
TEL 0284-73-5567

丸森地区  
河川防災ステーション

桜づつみ公園

丸山城址

川リンピック（H18年8月、震災前）



火起こし



スローロープ投げ

防災関連イベントの事例



牧草地としての利用



住民による踏み倒し（マレットゴルフ）